

白老町町内会連合会の「協働のまちづくり」の考え方

4 住民と行政の役割

- 行政主体から住民主体への変革（住民主体のまちづくり）
- 住民と行政の信頼関係と補完関係の確立
- 永年続いている行政体制を180度変革しようとする緊張感と気構え
- 住民と行政の情報の共有化への取り組み

- 地域や行政の状況を積極的に住民へ情報提供する
 - ・ 広報誌
 - ・ 回覧文書
 - ・ 会議等
 - ・ 出前トーク事務事業の洗い出しと自治体が行うべき項目の整理

- バラマキ型助成を改め、必要に応じて支援する
 - ・ 必要な補助金
 - ・ 人的支援
 - ・ 物的支援
 - ・ 協働

- 役人から奉仕者精神へ改革する
 - ・ 役人業からサービス業へ
 - ・ 住民主体の黒子に徹する

- 縦系列業務から町長をトップとする横断的行政業務へ変革する
 - ・ グループ制の導入
 - ・ 来客対応
 - ・ 行政の意思統一

- 住民と対等の立場で対話する姿勢を持つ

- 地域担当制の導入

- 公共サービスを積極的に担って活動する
 - ・ みんなの基金
 - ・ 里親制度
 - ・ 広報「げんき」の発行委託業務はなじまない

- 地域の課題は地域で解決する主体的組織の再構築
 - ・ 地域まちづくり協議会の設立
 - ・ 行政の下請けではない
 - ・ 参加者の啓発

- 町民活動を促進する窓口の設置

- 地域の意見集約と提言

- 寄付文化の機運づくり

協働のまちづくりのイメージ

